

社協だより

第201号

2024. 3. 1

点字・拡大・音読版あります

【編集・発行】社会福祉法人 直方市社会福祉協議会 〒822-0026 福岡県直方市津田町7番35号
TEL 0949 (23) 2551 FAX 0949 (23) 2552
e-mail : nogata-shakyo@fuga.ocn.ne.jp HP : <http://www.nogata-shakyo.org/>



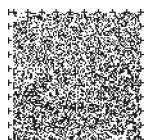
福祉教育のゲストティーチャーとして
洞ノ上浩太選手に参加していただきました。
(上頓野小学校にて)

もくじ

- 地域の輪(いろいろ)
情報の広場(認知症啓発セミナー)
図書室(マチネの終わりに)..... 2
- 社協からのお知らせ(コロナ特例貸付を利用された方へ、第49回直方市ボランティアのつどい、男性介護者のつどい、生理用品寄附のお願い)ご寄附..... 3
- 特集(見守りアプリ×「スマホ教室」)..... 4

ちよつとした配慮により、障がい者はとても助かると思います。法令や福祉教育など様々な取り組みを通して、障がいのある人もない人も互いにその人らしさを認め合いながら、共に暮らしやすい社会に向かっていくことを切に願っています。

(藤田)



kantera

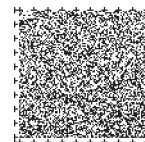
カンテラ



共に暮らしやすい社会に

この社協だよりは、赤い羽根共同募金の配分金で作成しております。





地域に根ざした独自の福祉活動を紹介します。

地域の輪

「こどもの居場所」いろいろ」

こども食堂「いろいろ」を訪ねました。谷尾美術館の通りに点在するお屋敷の一つ徳川邸に入るとカレーのいい香りがしました。

こども食堂で提供する夕飯の準備で忙しい中、代表の辻さんにお話を伺うことができました。様々な条件の中で生活に困っているヤングママとヤングパパに何とか手を差し伸べたいという思いが言葉の端々から伝わってきます。困っている人はだれでもどうぞ。という姿勢です。取材中にも近所に住む高齢女性が鍋を抱えて、「今日のごはんは何？」と覗きに来られていました。

「こども食堂」のほかにも月曜と水曜には、「おやこひろば」が開かれていて、こちらは予約なしで自由に遊ぶことができます。他にも学校に行くのが嫌だなと思う子どもたちが過ごせる「フリースペース」や「子育てシェア」もあります。「こどもの居場所」にしたいけれど、校区外に一人で行ってはいけない等の

理由で本
当に来て
欲しい人
になかな
か来ても
らえない。
少子化が
社会問題
として取
り上げら
れるようになり、子育てのハード面は昔に比べると整ってきています。しかし、ソフトの面である悩みを共有する場所や関係作りでは、まだまだ…と悩みもある様子でした。能登半島の地震では、大きくボランティアについて取り上げられていますが、日常生活にある困難にも目を向けていかなければと感じた取材でした。まずは、「いろいろ」でご飯づくりのボランティアをしてみませんか。



(石黒)

情報の広場

高山病院 福岡県認知症医療センター

認知症啓発のための 第1回市民向け&専門職向けセミナー

「認知症になっても住み慣れた街で安心して暮らし続けていくために必要なこととは」
～重症化を防ぐためには～

■と き 令和6年3月16日(土)
13時～17時(12時受付開始)

■と ころ ユメニティのおがた 小ホール
(直方市大字山部364-4)

■お問合せ 高山病院福岡県認知症医療センター
TEL:0949-23-0520

■プログラム

1. 記念講演(13時～14時30分)
「認知症の人が見ている世界」
～認知症の人への関わり方の基本を学ぶ～
講師:川畑 智氏(株式会社 Re学 代表取締役)
2. シンポジウム(14時40分～17時)

参加申込み用



「マチネの終わりに」

著者 芥川賞作家
平野 啓一郎

発行 毎日新聞出版
直方市立図書館 所蔵

天才クラシック・ギタリストの詩野聡史は、若くして世界にその才能を認められ成功を収める一方、キャリアの岐路に立ち苦悩していた。そんなある日、彼はパリで活躍するジャーナリストの小峰洋子と出会う。二人は、その瞬間から強く惹かれ合ったが、洋子には婚約者がいた。

さらに、世界を飛び回る仕事や時代という大きな波に翻弄されて、二人の関係は途絶えてしまう。

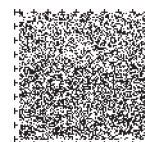
その後、二人はそれぞれ別々に結婚して家庭を築く。

忘れられない二人がニューヨークで再会する。そのリサイタルのマチネ(昼公演)の最後に、あの有名な映画のテーマ曲「幸福の硬貨」で洋子は涙を流す。実は、聡史は、すでに客席の洋子に気がついていていた。

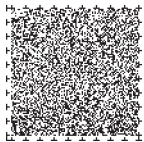
(広田)



図書室



この社協だよりは、点字版・拡大版・音訳版もあります。ご希望の方はご連絡ください。



コロナ特例貸付を利用された方へ ～お困りごとはありませんか？～

生活福祉資金コロナ特例貸付の償還（返済）が開始となる方に対し、福岡県社会福祉協議会から償還案内の書類が送付されています。

様々な事情で返済にお困りの方は、猶予（返済時期を遅らせる）や免除（お金を返さなくても良い）についてもご案内できる場合がありますので、まずはお気軽にご相談ください。

■お問合せ 直方市社会福祉協議会 総務係 コロナ特例貸付担当

第49回 直方市ボランティアのつどいを開催します！

初めてのボランティアをしてみませんか。
～みんなで！ポッチャを楽しもう！～

■と き 令和6年3月20日（水・祝）
10時～13時（受付：9時30分）

■ところ 直方第三中学校 体育館

■参加費 無料

■主催 直方市ボランティア連絡協議会

直方市社会福祉協議会

〔共催〕 障がい者問題を考える

直方市連絡会議

■申込 TEL・FAX・メール

■お問合せ 直方市社会福祉協議会

※シューズ・飲み物はご持参ください。



第25回 男性介護者のつどいを開催します！

悩み深いからこそ、分かり合えることがある

男性介護者のつどいは、同じ立場でお話をする事で、今日を生きて、明日も生きる力を共有する場です。

■と き 令和6年3月24日（日）
13時～15時（受付：12時30分）

※15時30分まで自由にお話できます。

■ところ 直方歳時館 和室3・4

■参加費 無料

■主催 直方市社会福祉協議会

〔共催〕 認知症の人と家族の会直方

〔後援〕 直方市

■申込 TEL・FAX・メール

■お問合せ 直方市社会福祉協議会



生理用品のご寄附のお願い

「生理の貧困」を知っていますか。

生理は毎月のこと。そして、それは健康のあかしでもあります。直方市社会福祉協議会では、様々な理由で購入が難しい方へ生理用品をお渡しする「さくらプロジェクト」の取組みに参加をしています。

現在、必要な方にお渡しする在庫が少なくなっています。皆さまからのご寄附をお願いします。

■受付窓口

直方市社会福祉協議会

直方市津田町7番35号（直方郵便局前）



一般寄附 公益社団法人 直方法人会様

公益社団法人 直方法人会様から「公益目的事業チャリティーゴルフコンペ」の収益の一部を寄附していただきました。

社会福祉事業のために有効に活用させていただきます。
ありがとうございました。

ありがとう
ございました

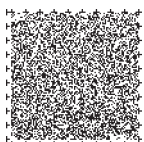


令和5年度加入会員
井上青果
ヤマモト 桧垣博子
志鶴隆俊
田中紀子



令和5年11月11日～令和6年2月10日
4件 合計金額 4,500円
（お名前は承諾された方のみ掲載、加入順、敬称略）

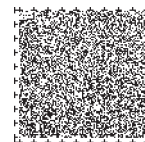
ご加入ありがとうございます



「福祉なんでも相談」受付中！お困りのことがあったらお気軽にご相談ください。



チーム直方



チーム直方は、民生委員、市民、大学教員等の熱い想いを持つ経験豊富なメンバーで活動をしています。民生委員は、住んでいる地域で支援を必要としている人を行政等に繋ぐ役割を持っています。しかし、民生委員の担い手もこれからますます高齢化していきます。

そこで、働く世代の負担を減らしながら、誰もが暮らしやすい地域の実現を目指し、「まちのアプリ」を開発中です。インターネット上には、多くの情報が溢れ、知りたいことまで辿り着かないこともよくあります。このアプリがあれば、「自分が暮らすまち」の情報だけを簡単に得ることができます。また、一定時間以上、携帯電話が動かなかった時には、登録してある方々へ通知が届きます。

地域の繋がりが薄くなってきている現代において、お隣に誰が住んでいるか知らない方もいらっしゃると思います。若い時はそれでも良いかもしれませんが、歳を重ねた時に繋がりが薄ければ、孤独と隣り合わせの毎日です。孤独死の可能性も高くなります。シニアの皆さんからは「そっと見守って欲しい。」「スマホの使い方が分からない。」ということも耳にします。

このアプリがきっかけで新しい繋がりが
できることに期待しています。

詳しくは
こちら



スマホの**仕組み**でシニアに**安心**を！ **見守りアプリ**×「**スマホ教室**」 スマホを**活用**してシニアと**楽しみ**を！

「ふーぷ」は、高校生がシニアの方にスマホやデジタル機器の活用方法を伝える活動をしています。代表を務める渡辺美紀さんは、直方市に住む高校生です。「祖母がスマホを使うことに苦戦していた。」ことをきっかけに活動を始めました。現在は、福岡県内の複数の高校に通う仲間と一緒に、長期休暇や休日を利用して、スマホ教室等を開催しています。

また、「スマホの使い方を伝える」とことと「多世代がコミュニケーションをとれる場づくり」を目的として始めたこの活動は、たくさんの方の笑顔の花を咲かせる活動となっています。

参加をしたシニアの皆さんからも「高校生の皆さん一人ひとりがとても親切で、説明も分かりやすく、楽しい時間でした。」「まだスマホを持っていませんが、楽しい時間でした。」との声をいただき、楽しく活動をされています。

現在は、高校2年生を中心に36名（12/1現在）で男女仲良く楽しく活動を行っています。春からはそれぞれの進路に向けて進みます。



スタッフ
大募集中！

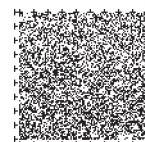


Zoomでの
ミーティング風景

これから一緒に活動を行ってくれる学生さんを募集しています。
高校生なら、どこの学校でもどこに住んでいても大丈夫です。
「何かに挑戦してみたい。」「たくさんの人と出会いたい。」等どんな理由でも大歓迎！貴重な高校生活を楽しく、充実させてみませんか。

学生団体「ふーぷ」

シニア世代の悩みである「デジタル機器への抵抗感」に高校生が伝える「スマホやデジタル機器の活用方法」が組み合わさり、コミュニケーションの場にもなっています。このような機会が増えることで、シニア世代だけでなく、直方に住む皆さんの繋がりにっていけば良いと思います。



編集後記
波乱の幕開け、2024年。なぜ、こんな年明けに？「能登半島地震」、極寒地での暖は？水は？食は？医は？生きる術を奪われて…北九州市市場火災、そして、世界にとどまることない殺りく破壊の戦火。
ただ一筋の光明！「羽田日航機事故全員無事脱出！」苦しみの日本列島、祝福の快挙、よかった！祈る！今年一年の日本列島の安全と世界平和を…
1月8日 新成人にも託して。
(広田)

登録ヘルパー募集中！お気軽にご連絡ください。

